

5-b フネの大きさ

かつては、総トン数5トンを境に免許資格が分かれていたこともあって、多くの方は小型の、総トン数5トン未満のフネで、そのボーティングライフをスタートさせていました。

たしかに、小型のフネであれば全体を把握しやすく、たとえ離着岸などの際に多少失敗してどこかにぶつけたとしても、そもそもの質量が小さいですからダメージも少なく、まだフネという乗り物に慣れていない方が乗るにはいろいろと都合が良さそうです。

特に船外機艇やスターンドライブ艇は、その推進器の機構上、ステアリングで推力軸そのものが向きを変えるため、低速域での舵利きが良く、初心者にとって難しいとされる着岸時のマニュアルでも、比較的容易にフネを操ることができるというメリットがあります。

*

しかし、小型の船外機艇と、40フィート、50フィートクラスのインボードエンジン2基掛けのフネでは、その基本的な特性はもちろん、具体的な操船方法もかなり違ったものになります。

特に、両舷機の前後進を使って方向を変えたり、その場でフネを回頭したり、さらにその応用として可能なさまざまなマニューバリングについては、船外機やスターンドライブを1基掛けとした小型艇では、まったく考えられない操船方法ということになります。

また、フネの大きさや質量の違いは、その動きを異なったものにしてしまいます。いざとなったら手足を使ってフネを押さえ、それで他艇や岸壁への衝突を避けることができる小型艇のつもりで大型艇を動かしたとしたら、危険極まりない操船になってしまうでしょう。

*

PWCを対象とした特殊小型船舶免許は別として、現在の小型船舶免許制度においては、湖川小出力限定や、満18歳未満の5トン未満制限などを除く

と、操船可能なフネの総トン数に5トンという制限はありません。だれもが小型船舶のワケ一杯の、総トン数20トンまでのフネを操船できます。しかも、レジャー用途専用、つまり一般にプレジャーボートとして使われるフネについては、総トン数にかかわらず、全長24mまでのものを操船できるということになっています。免許による操船資格の違いは、もっぱら航行区域だけです。

つまり、2級小型船舶操縦士免許を取ったばかりの人でも、フネの航行区域を保有免許のそれに合わせたものにしておくならば、40フィート、50フィート、



さらには、制限枠一杯の24mクラスのフネでも操船することはできるわけです。

*

前述したように、小型艇と大型艇では、その操船感や操船方法にかなりの違いがあります。ですから、将来的に大きなフネに乗ることを考えているならば、最初から大きめのフネに乗って、そういったクラスのフネならではの操船感覚をさっさと身につけたほうが、わざわざ特性の異なる小型艇からボーティングを始めるよりもずっと現実的だという気がしないでもありません。

24mというと、ヤード・ポンド法で表現するならば78フィート8-4/5インチ。78フィートクラスのモーターヨットといえ、メガヨットとまではいかないにしても、プロダクションプレジャーボートとしては、かなり大きなクラスです。そういっ

たフネを操船しようという人が、試験やそのための練習としてならばともかく、免許取得後も20フィートや25フィートクラスの小型艇からボーティングを始めるというのは、むしろ不自然でしょう。2級免許をとってすぐに大型艇でボーティングを始めるというのも、現代では大いに考えられるところでは。

ただし大きなフネは、それにかかる経費についても、フネのサイズに応じた出費を覚悟しなくてはなりません。これは、故障や事故など、トラブルが発生した場合においても、です。

*

実際にフネを購入し、それをマリーナへ預けたり、どこかの河川や港湾に係留したりする場合、保管・係留場所それぞれの立地条件によって、必ずしも望みどおりの大きさのフネに乗ることができなくなる可能性があります。フネの大きさにかかわる問題というのは、なにも使い手の技量や、操船資格だけの問題ではありません。

たとえば水深。河川の河口付近に設けられたマリーナや係留水面などでは、引き潮で水深が浅くなり、入出港可能なフネは、もっぱら吃水の浅いものだけとなるようなところがあります。

一方、橋をくぐることが前提となるようなマリーナなどでは、満ち潮で水面が上昇すると、水面から橋梁までの高さが問題となって、クリアランス高が高いフネは通過できなくなります。

吃水が浅く、高さが低く抑えられているフネならば、どちらの場合もさほど問題はないのですが、そういった条件に適合するのは、水上バスのような特殊なものを除くと、通常、全体が小さいフネということになります。

*

購入するフネの大きさを決める要素は、いろいろです。ただ、最終的にフネの大きさを決めるのは、やはりオーナーの考え方ということになるでしょう。